

レ・プレイアード・ゼロ 0W-20

LES PLÉIADES ZÉRO 0W-20

■ベースオイル: Gr.Ⅲ+PAO ■SAE粘度: 0W-20 ■ACEA規格: C6 ■LSPI対応

WEBサイトも
要チェック!



CB18など次世代エンジンに対応 純正プレミアムエンジンオイル0W-20が登場

レ・プレイアード・ゼロは、SUBARUが純正採用している、ディーラーで入れることができるプレミアムエンジンオイルだ。これまで主力だった0W-30は、クルマ好きの”コダワリ派”はもちろん、初めてのハイグレードなオイルを入れてみた、という人に大好評。「エンジンオイルの違いが体感できる!」と、口コミでも広まった。そんなレ・プレイアード・ゼロの最新作である0W-20がデビュー。SUBARUの新型エンジンに対応したプレミアムエンジンオイルの性能をレポートする。



CB18エンジン搭載の レヴォーグ/アウトバック/フォレスター に対応のハイグレードオイル



現行レヴォーグ、アウトバック、フォレスターに搭載されているCB18エンジンは低燃費を狙った特性に合わせて、新車充填エンジンオイルの粘度が0W-16となっている。そんな新型エンジンに対応したプレミアムエンジンオイルが新登場。



純正プレミアムオイル初の LSPI対応

低速早期着火とも訳されるLSPI=Low Speed Pre-Ignition。エンジンオイルの添加剤に含まれる成分が火種となり異常燃焼、不完全燃焼などの症状を対策するために、洗浄分散剤を見直すなどの対応が求められている。レ・プレイアード・ゼロ0W-20はLSPIが起りやすい直噴ターボエンジン搭載車に効果てきめんだ。

ここ数年でSUBARU車に搭載されるエンジンの環境が大きく変化して、エンジンオイルに対する要求が厳しくなっている。なかでも燃費性能、環境性能はその筆頭格。そしてCB18型エンジンなど、「直噴エンジンへの最適化」という部分も求められている。レ・プレイアード・ゼロのラインアップに新しく加わった「0W・20」は、SUBARUの新世代エンジンに合わせて作られたエンジンオイルだ。

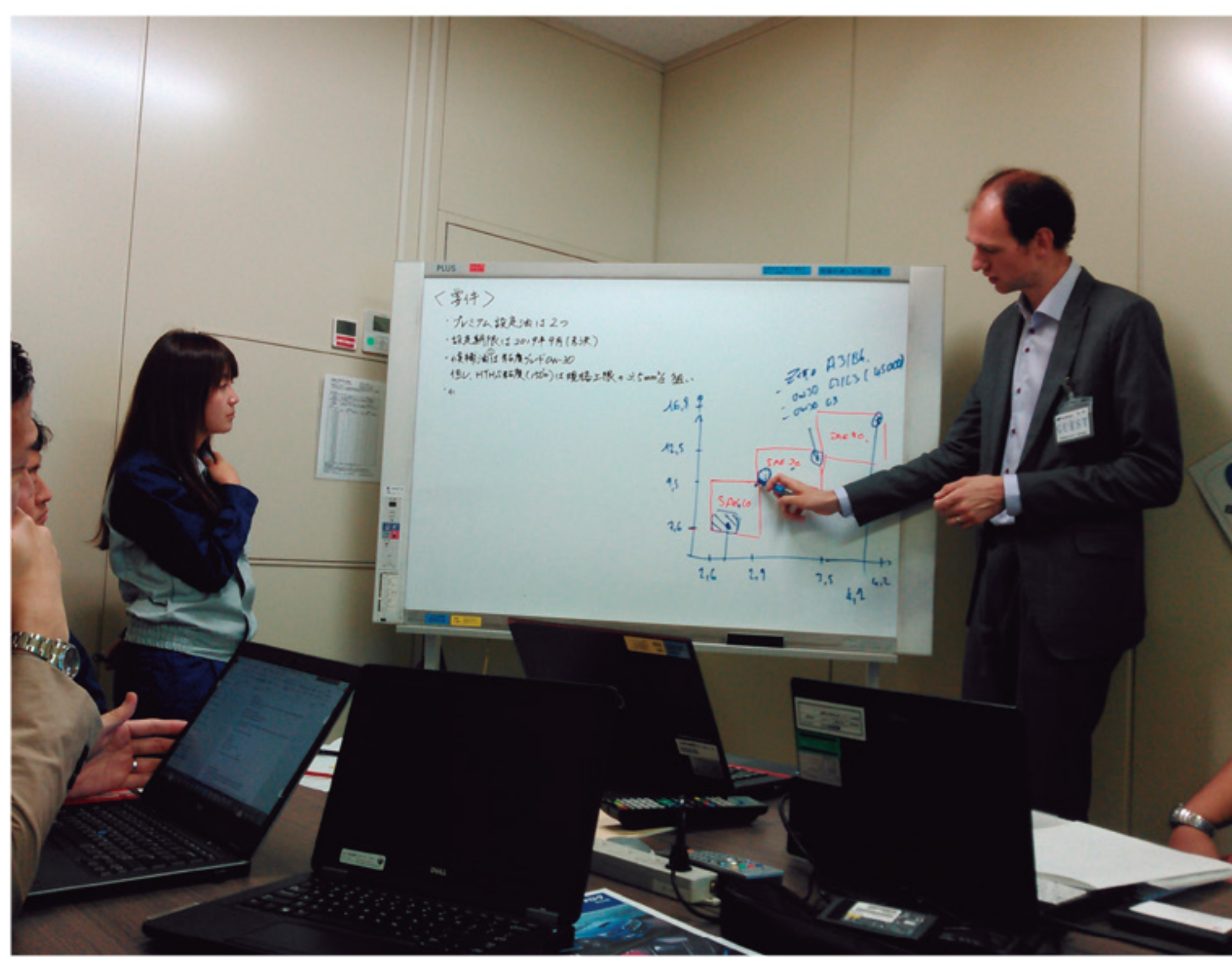
「現行車両に搭載しているエンジンは、環境問題や燃費性能」といった社会的要求への対応が必要であり、純正エンジンオイルの低粘度化が進んでいます。現行のVN5レヴォーグに搭載されるCB18エンジンの新車工場充填オイルは0W・16です。これまで純正プレミアムエンジンオイルとして採用してきたレ・プレイアード・ゼロ0W・30は適用できなくなりました。しかし、0W・30には非常にリピーターが多いんです。その理由は使ったわかるその爽快なフィーリングです。新しい直噴ターボエンジン、そして新車工場充填オイルが0W・16

エーの摩耗防止にも対応、触媒の劣化にも配慮するなど、対環境性能といった時代の要求にも応えた設計となっている。

レ・プレイアード・ゼロ0W・20のSUBARU純正採用を担当したアクセサリー企画部 技術開発グループの宮嶋さんに話を聞いた。

という部分で難しいところがありましたが、約4年トタルエナジーズ社と時間を掛けて共同開発をし、0W・30の使用フィーリングを想わせる滑らか感、軽快感が感じられるこの0W・20プレミアムオイルを完成させました。もちろんハイグレードなのでお値段は多少お高めですが、しっかりとその違いが感じられると思うので、是非とも体感してもらいたいです。レ・プレイアード・ゼロを純正プレミアムオイルとして採用して約10年。社内で使っている人に聞いても、悪くいう人はいないですし、1度入れると完全にリピーターという人が非常に多いです。

CB18搭載のレヴォーグ、アウトバック、フォレスター、そして新車工場充填オイルが0W・20のWRX S4 (VBH)などには、この新しいレ・プレイアード・ゼロ0W・20を入れてそのフィーリングを体感してほしい。もちろん、新車工場充填オイルが0W・20のBRZ (ZD8) などのNA車にも使うことができる。純正プレミアムエンジンオイルは、安心して使うことができるし、ワランク上のエンジンフィールを味わうことができるのだ。



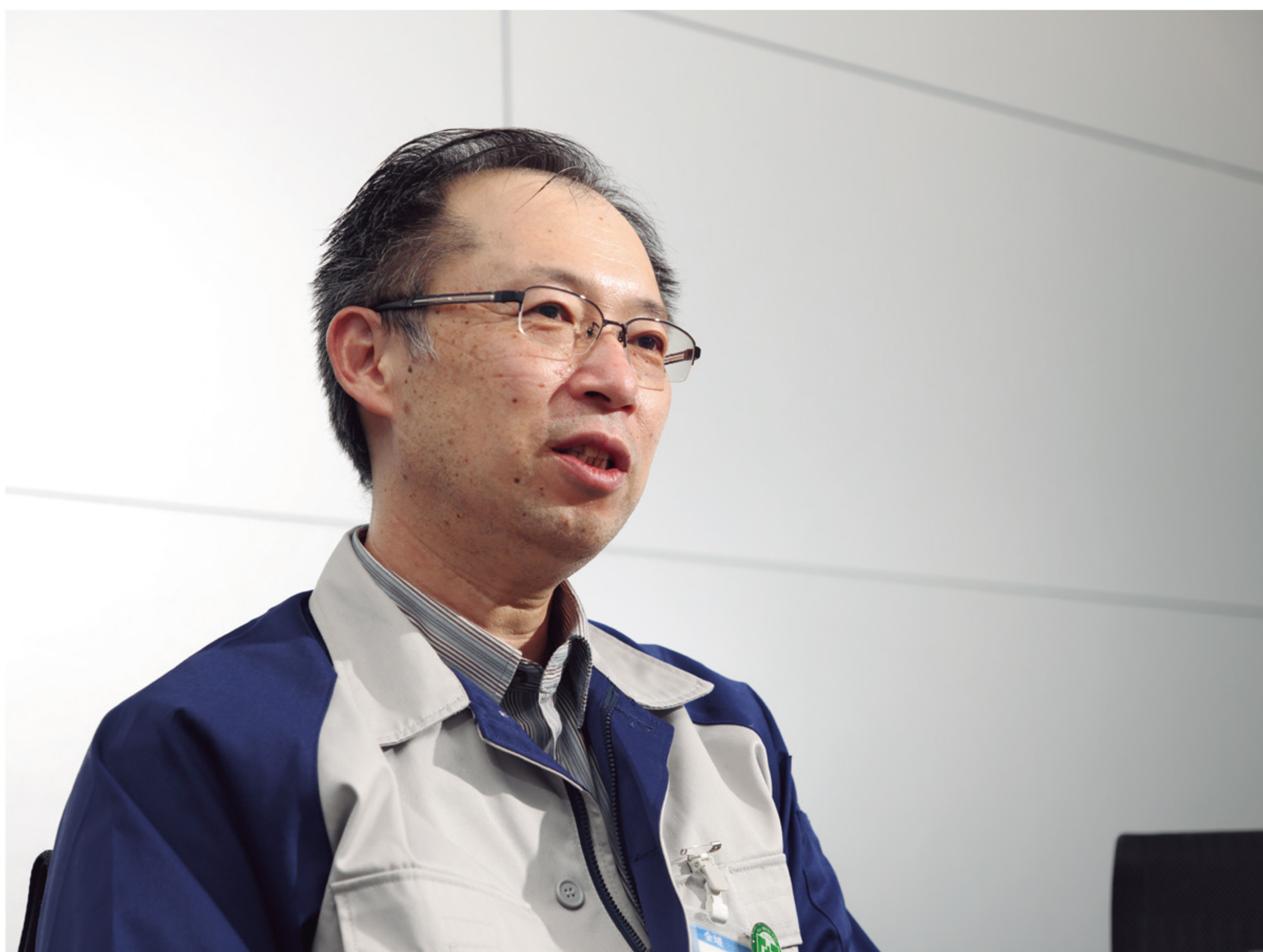
2018年から開発を進めてきた0W-20。フランス、トタル・エナジーズ技術部のジェローム氏も来日し、東京三鷹のSUBARU技術本部にて協議を重ねた。エンジン部品に関する材料適合性と、過去の評価実績を基に総合的に判断をして、よりシビアな条件でのエンジン試験も実施して安全性を確認。厳しい条件をクリアしてこのレ・プレイアード・ゼロ0W-20が完成したのだ。

ACEAエンジンオイル規格の 厳しい基準をクリア

ACEA(アセア)とは欧州自動車工業会の略で、欧州の自動車メーカー、石油メーカー、消費者の団体により制定されたのがACEAエンジンオイル規格。グリーン&クリーン、安全性等を志向していて、日本ではオイルの規格で知られている。年々規格の要件は厳しくなり最新のC6ではLSPI、タイミングチェーンの摩耗防止に対する対応も必要になるという。他にも、排ガス浄化装置の劣化を抑制するLow SAPSに対する要求も厳しい。レ・プレイアード・ゼロ0W-20は、いち早くACEA C6規格をクリアした新世代オイルなのである。

性能の高いベースオイルを採用

レ・プレイアード・ゼロ0W-20のベースオイルはGr. III+PAOを使用している。このPAOは価格高騰などの要因もあり最近では大手メーカーでの使用が少なくなっている。そんな状況下でもレ・プレイアード・ゼロは水平対向エンジン保護性能や寒冷地での流動性、高温時の油膜の安定という特性を持つPAOを採用。



SUBARU
アクセサリー企画部 技術開発グループ
宮嶋 朗さん

SUBARU 純正用品の企画・開発を行うアクセサリー企画部で技術開発グループに所属。純正オイルにも20年以上携わっている、SUBARUプレミアムオイルのスペシャリストである宮嶋さん。「市場調査を通じて、SUBARUのお客様にはプレミアムオイルのニーズがある」と確信。レ・プレイアード・ゼロ0W-20の開発に尽力した。